



会報

- 1.第4回異業種交流会開催
- 2.自主研究会のご紹介
- 3.活動紹介(プロジェクト科目)
- 4.その他

NPO法人同志社大学産官学連携支援ネットワークホームページ
<http://www.doshisha-net.org/>

発行 NPO法人同志社大学産官学連携支援ネットワーク (同志社大学リエゾンオフィス内)
 □ 京田辺 〒610-0394 京田辺市多々羅都谷1-3 TEL:0774-65-6223 FAX:0774-65-6773
 □ 今出川 〒602-0023 京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103 TEL:075-251-3147 FAX:075-251-3046

1. 第4回異業種交流会開催

去る6月30日、本NPO主催の「第4回異業種交流会 同志社コラボネット文系産学連携を考える～あなたの参加がカギになります」が、大阪天満橋のエル・おおさかで開催され、100名を越す参加者のもと大盛況のうちに幕を閉じました。

今回のイベントではまず基調講演で、同志社大学文学部心理学科の余語真夫教授より「化粧と心・社会」をテーマとした、心理学的・社会構造的見地から化粧についてのご講演を頂き、続けて池坊短期大学タミー木村准教授より「人の心を前向きにする化粧」と題した、福祉の見地から化粧の効能についてのご講演を頂きました。「化粧」という身近なキーワードが単なるファッションとしてだけでなく、ある時はストレスの解消法や外見的欠陥の補償法として、またある時は社会参加への道具(高齢者メイク)として使われている、というのは、ある意味「驚き」の事実でした。

その後、文系産学連携の自主研究会の概要紹介があり、1部は無事閉会。熱気さめやらぬまま会場を近くの居酒屋へと移し、そのまま2部へと突入しました。そして、ここでも「外れなしの抽選」などが功を奏し、1部以上の“異業種交流”が実現し、大盛況となりました。今回のイベントを振り返ってみて、

- ①「大学OBから構成される同志社校友会大阪支部・産官学部会(LCC)との連携でイベントを開催できたこと」
- ②「未開拓な文系産学連携の事例を皆様に紹介できたこと」
- ③「池坊短期大学と同志社大学間の学学連携で大学の研究を紹介できたこと」

この3点が今回のポイントとして挙げられるかと思いますが、この勢いをぜひ団体の活力とし、今後とも総合大学の強みを生かした社会貢献活動に頑張ってください。

【当日の様子】



(余語先生によるご講演)



(タミー木村先生によるご講演)



(熱心に聞き入る会場の様子)

2. 自主研究会のご紹介

前号の会報で募集をさせていただいた「自主研究会」ですが、この度3つの研究会から申請があり、活動をスタートさせています。会員が自由な発想で研究会を立ち上げ活動するというのが「自主研究会」の趣旨でありますので、今後も多くの方々のご参加をいただければ幸いです。

なお、下記の研究会へ参加希望の方は、NPO事務局まで参加希望の研究会名とご連絡先（電話番号、Eメールアドレス）をお知らせください。後日、各自主研究会の担当者から詳細をご連絡させていただきます。

NPO事務局（担当：平野） 電話：0774-65-6223 FAX：0774-65-6773 E-mail：staff@doshisha-net.org

【士業研究会】

本NPOには多くの士業の方々に参加されています。そこで当研究会ではNPO会員の士業に対する要望の取りまとめを行い、NPOを通じて集まった士業メンバーの交流の場を増やすことで、会員間のネットワークを強化したいと考えています。また、同業者・同業者以外の知り合いを増やすことで、NPOの活動を支援することに加えて、自らの仕事にもプラスの効果期待できる場となればと思っています。活動内容としては、研究会主催のセミナー（NPO内外向け）を開催したり、外部機関主催のセミナーに講師として研究会メンバーを派遣することを考えています。また、ベンチャー起業家に助言を行う相談会を開催するなど、士業の専門家が様々な助言を行うことで社会貢献を行うことを目指しています。この研究会に興味のある方であれば、士業であるか否かに関わらず参加を歓迎します。

【同志社大学メセナ産学連携研究会】

メセナに関心があるが経験がない、ノウハウがないなどの理由から行動をおこせないでいる企業（中小企業）のために、大学の持つ幅広い知的リソースを役立てていただくことで、多様なメセナ活動が展開され、より豊かな社会の実現に寄与することを目的としています（「草の根メセナ活動」）。

活動内容としては、月1回程度研究会を開催し、今後の活動方針や内容について検討を行います。その上で、シンポジウムを開催し、同志社大学のメセナ産学連携に関して広くアピールを行うとともに、中小企業などとの連携によりメセナ産学連携の具体的な活動を推進したいと考えています。

この研究会に興味のある方は、お気軽にご連絡ください。

※メセナ[mecenat]という言葉は、芸術文化支援を意味するフランス語。今回は、社会貢献の一環として行う、教育や環境、福祉なども含めた「企業の行う社会貢献活動」と、広義の解釈で使用しています。

【同志社ブランド・文化資源を活用した産学連携研究会】

近年、大学ブランドを活用した取り組みが多く見られます。そして、今後も激化する大学間競争において、大学は様々な取り組みを社会に発信する必要があります。そこで当研究会では、資源を組み合わせ、商品展開を行うことで同志社大学を広く社会にPRすることを目的に、同志社大学に眠っている資源を企業・OB・学生の方々のアイディアにより産学連携スタイルで組み合わせ、商品企画・立案するための研究会を開催致します。具体的には以下のことを企画しております。ご関心のある方はぜひご参加のほどよろしくお願ひします。

（研究会内容）

- ・月1回程度の研究会開催
- ・商品の企画・立案を行い、(株)同志社エントープライズ・同志社生協に紹介し、商品展開を行う
- ・人文社会系産学連携の事例を各方面で紹介するためのシンポジウムを開催

3. 活動紹介「同志社大学プロジェクト科目（正規授業科目）」最終レポート

前々号・前号と連続で報告して参りました、本NPO が提供する同志社大学プロジェクト科目「“知的財産”の最前線から学ぶ—社会で役立つ知財を身につける—」も講義終了に伴い、いよいよ今回で最終のレポートとなりました。

「知的財産に係る基礎的知識についての教育に加え、企業活動における知的財産の実際と知的財産情報の研究開発への活用を学生自らが体験することに

より、正しい知識の取得と興味を持たせること」という大きなミッションのもと、座学はもちろんのこと、知的財産紛争の最前線である裁判所での傍聴や、パテントマップ作成などの実習など、かなり試験的な内容にも挑戦したこのプロジェクト科目。

今回はレポートを締めくくるに当たり、講義全体のコーディネーターを務められた巖榎邦弘さんにお話を伺いました。

—まず全体を振り返ってみていかがでしたか？

「私としては、戒めの意味も込めて60点ですが、学生の参加意識が後半に行けば行くほど上がって来た感じがあったので、最初としては上出来だったのではないのでしょうか」

—評価点・反省点をそれぞれ教えてください。

「評価点としては、やはり多様な講師、そしてカリキュラムというのが挙げられるでしょうか。これはプロジェクト科目全体の特徴でもあります。この授業においても実に多様でした。他方、反省点としては講義内容を少し盛り込み過ぎたことが挙げられます。初めてということもあったのですが、今となっては少し欲張りすぎた感がありますね」

—継続性・発展性など今後について聞かせてください。

「13回という講義体系で、今回のテーマを完結させるのは少し限界があります。もし来年以降も継続するのであれば、春秋の連続講義にして「前期は座学中心、後期はワーク中心」など、もう一捻り工夫を施す必要がありそうです。また今回の反省も生かして、もう少し学生の目線で内容を再考してみるのも手かかもしれませんね」

ご協力ありがとうございました！



巖榎邦弘氏

(同志社大学知的財産コーディネーター)

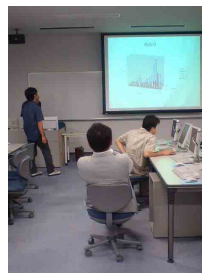
【プロジェクト科目の様子】



(講義風景)



(講義をうける学生の皆さん)



(最終発表の様子①)



(最終発表の様子②)

4. その他

①その他活動（アドバイザーコミッティーの開催）

前々号でもお伝えした「アドバイザーコミッティー」（ベンチャー企業などの応援団であり、産学連携の成功事例を輩出すること、大学発ベンチャー企業などの立ち上げ支援を目的）をこの度も下記の日程で開催いたしました。今回の対象も、D-eggの入居企業ということで、日頃は聞けない悩み、あるいは誰にも相談できない悩みなどをNPOに所属する先生方にもってもらいました。

【概要】

日時：6月22日（金）

※1コマ1時間×3回

開催場所：同志社大学

京田辺キャンパス

リエゾンオフィス

応対者：五島洋氏（弁護士）、眞下晋一氏（弁理士）、大谷康弘氏（公認会計士・税理士）、入江修二氏（東洋ビジネスコンサルタント代表取締役）、坂倉隆雄氏（ITEC 客員フェロー）、小池和明氏（ダイキンエアテクノ近畿株式会社特別顧問）

②同志社大学リエゾンオフィスからのお知らせ（D-egg）

同志社の技術シーズ、知見などを活かしたベンチャー支援施設として、同志社大学内に立地しております「D-egg」ですが、NPOの方からもアドバイザーコミッティーの入居企業相談会の開催などで協力頂いた結果、教員・学生・企業など多くの方面の方々から評価していただき、居室の残りのあとわずかというところまで参りました。

については、ただ今残りの居室の追加募集を受付けております。アドバイザーコミッティーやインキュベーションマネージャーによるアドバイスなど、当施設ならではのベンチャー支援へご興味のある方は是非この機会をご活用ください。

今後も更に同志社発の新事業を創出すべく、NPOとの協働に力を注いで参りたいと思います。【詳細はHP】

<http://www.d-egg.jp/>

D-egg

インキュベーションマネージャー
一井

TEL (0774)68-1378

③事務局スタッフの交代について

NPO スタッフの杉岡秀紀です。急ではありますが、この7月末より、大学院の先生方の推挙により「内閣官房行政改革推進本部」に勤務することになり、事務局の方をしばらくお休みさせて頂くことになりました。HPやメールマガジン、そして、この会報の改革もやっと波に乗り始め、またNPO自身においても会員の皆さんの顔と名前が一致しはじめた頃であっただけに大変残念であり、申し訳ないのですが「国の行革に新しい風を入れる」「大学と国とのパイプを作る」というミッションをもつての挑戦なので、どうか主旨をご理解いただき、お許し頂ければと存じます。なお今後は、山田未希が業務を引き継いで参りますので、よろしくお願ひ致します。それでは短い期間ではありましたが、皆様どうもありがとうございました。

《会員の皆様からの情報提供のお願い》

会員の皆様から情報提供（新商品、事業案内等）をこのホームページ・会報・メールマガジンなどで紹介できます。皆様からの情報提供をお待ちしております。

NPO事務局 電話：0774-65-6223 FAX：0774-65-6773 E-mail：staff@doshisha-net.org